

みんなのギャー

市民の皆さんの投稿コーナーです。
 誌面の都合で、掲載できないことがあります。
 締め切りは、前月10日です。

投稿・問い合わせ
 福津市中央公民館
 ☎43・2100
 FAX 43・2868

地域婦人会だより

健康生活支援講習会に参加して

俳句【太郎丸俳句会】

病床にふて寝してをり秋の空
 竜口 雅博
 高菜飯甘辛煮添え英隠元
 木下 正治
 行く方を猫と語りて夜長かな
 松下 桂子
 障子張る花の形もはって見る
 坂上 俊恵
 月蝕に我の小さを思ひけり
 中村加寿子
 新米やふるさとの香もあはせ炊く
 江頭 憲次
 オカリナの音色に秋の声を聞く
 畑迫みさを
 秋蝶や老々介護の庭先に
 柳井 玲子
 間引菜や人のこころの折れ易き
 高見 元子
 何時の間に頑固爺や秋の風
 真子 敬明
 沓音を聞くや楚石の秋の蝶
 千々和洋子
 御嶽の墓標色なき風の中
 薄 美津子
 芒原抜けて黒田の隠れ城
 西岡美津子
 秋灯やほころび一つづつ埋める
 下瀬 孝子
 雑草のごと生きている十月尽
 薄 多佳子

【海】

彼岸花左手のピアノコンサート
 小林 淑子
 病む友に告げし季節の彼岸花
 田中 照子
 噛み合わぬふたりの会話ねこじやら
 岡部ヤエ子
 納屋の奥忍び込んでる秋夕陽
 凡 天
 窓を磨きコスモスの風すき通る
 つるみつお
 達筆の手紙に俳句秋を知る
 前田フヂエ
 撮影の地域ドラマや秋日濃し
 原田 令子

【津屋崎俳句会】

つきぬける空の青さや涙ふかし
 松尾 忠義
 宵寒や逢瀬を急ぐ坂の道
 藤山 圭子
 古庭へ空蟬二つ風のまま
 鈴木 敦子
 旅立ちに菊花に涙そえて置く
 室元松希興
 地底より冬夜の犬の鳴き細る
 熊本 栄美
 全景は一景にして冬の月
 熊本 隼

【川柳「虹の会」】

ことりさんうたうわたしといっしよだね
 六歳 藤本ころ
 雲を見て感ずることほうまそうた
 中一 安西 七海
 サンタさん見たいと寝ずに待つ娘
 久保山裕昭
 台風のはどこかと孫がきく
 松井 貞子
 早すぎるケーキとおせちチラシ見る
 空谷 弘道
 てっぺんの柿台風に奪われる
 奥 節子
 孫笑う五臓六腑にしみてくる
 百武 海子
 旅は秋孫の住む街桜島
 長井すみ子
 爪と爪でさえ触れるとあつたかい
 水谷そう美
 秋風にひとりぼっちの雲が行く
 東 浩子
 スマートな二十歳のころに戻れない
 安井 秀子
 渋皮煮姉の想いをおすそ分け
 林田恵津子
 どさくさの年越そばと初詣で
 中山 きえ
 街角に響く蹄の音も秋
 村山 明美
 G線のピオラが冴える秋深む
 河内やすこ
 合掌のママを真似てる小さな手
 下釜 京子
 介護では笑顔の仮面外せない
 柳田 涼子

短歌【わたつみ短歌会詠草】

乳飲み子を抱きて移り来し日より
 銭花 治代
 四十年経て町も老いたり
 富田 浮風
 顔を朱にそめたる孫五才
 富田 浮風
 か細い腕にちからこぶつくり
 野部フクヨ
 庭石に猫の指定席あるらしく
 野部フクヨ
 今日も親子で日向ぼっこしてゐる
 野部フクヨ
 楽しさと苦しき伴う道なれど
 浜崎 敏江
 われは歩まん生ある限り
 山形 四郎
 汚れたる大気の中を昇り来る
 北富れい子
 べっこう色の今宵名月
 星も無い大空の中白白と
 ひとりぼっちの十六夜の月

【一般投稿】短歌

老犬は道の分岐に立ち止まり
 「こつちよ」と言えば従き来る素直に
 島崎 渚
 病室の窓より眺める山や川
 今も昔も変わらぬものを
 平川 和子
 夕刻の再会信じて小一の
 母に手を振り校門潜る
 方木 修一
 落葉松の輝きながら降り積むを
 見とれていたは会津山中
 坂口 恰子
 この頃は鮑を全く見ずなりぬ餌になる
 鼠の途絶えしゆえか
 野間 精一
 宝くじ買って夢見る大富豪
 性格単純いつも前向き
 宙 燃

【一般投稿】俳句・川柳

深いふかい秋連れ舞いの物忘れ
 社交辞令いつも信じていた若さ
 中原 恵子
 皺の手を裏返すかな桐一葉
 家中の灯りを点けて暮の秋
 佐々木芽子

同病を相哀れみて秋深し
 紅葉の舞う庭先に鳥あそぶ
 徳永タミ子

夕まづめ河口にかかる鱒ぐも
 尺寸の霜月蝶拓に取り
 初投句添削のあと消えた季語
 松本 連蔵

石露や木陰の隅で自己主張
 枸杞の実を煮出し姿の母徳ふ
 古賀新太郎

公園も秋みの虫が風にゆれ
 秋の空大空にデッサンする鱒雲
 菅田 隆一

秋刀魚やき秋の味覚が躍りだす
 体重計のつてはみたが片足で
 中島 久次

囲碁・将棋大会 結果

市実年囲碁会10月例会

今回は、12月2日（第1火曜日）、12月16日（第3火曜日）午前10時受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	猪俣 征雄	宮崎 良一	今丸 演
2	笈 芳武	岩谷 巖	魚住 洋二
3	中嶋 孚	井本 雅文	佐藤 辰夫
4	阿部 学	石井 隆夫	満生 忠雄
5	加村 光義	広渡 直	吉田 弘実
6	高木 正信	中村 清	中嶋 一
7	西岡 孝治	西住 弘久	高島 正憲
8	能美 一丸	豊川 隼智	武田 隆幸
9	森山 英明	城野 正雄	平 輝美
10	江川 照正	山本 正三	安室 典忠

連 満生 忠雄 ☎43・2420

福津市将棋同好会10月例会

	1位	2位	3位
A	北原 端三	滝口 純一	春日 久行
B	村本 健次	佐野 五郎	村上 良明
C	仲上 徹志	秋山 元治	椎名 淳
D	実崎 雄太	出水平八郎	中嶋 宗行
E	三村喜久治	木道 健一	川上四男美
F	仲村 輝美	梶木 繁実	木多 成行

連 吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会10月例会

今回は、12月14日（第2日曜日）午前10時受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	大野 政嗣㊟	宮崎 良一㊟	猪俣 征雄㊟
2	牛垣 徹㊟	菅原 勝弘㊟	佐藤 弘㊟
3	三原 敏男㊟	花田 和彦㊟	荻野 力㊟
4	藤井 修㊟	木植 宏㊟	加村 光義㊟
5	宮川 義信㊟	満生 忠雄㊟	安田 礼一㊟
6	上野 勲㊟	玉井 國雄㊟	桜井 峰治㊟
7	吉田 幸博㊟	山本 正三㊟	大塚 俊一㊟

連 井本 雅文 ☎42・0566 三原 敏男 ☎42・3916
 ㊟は二段、㊟は2級

津屋崎囲碁同好会10月例会

今回は、12月20日（土）午前10時から文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	今丸 演㊟	菊地 猛㊟	魚住 洋二㊟
B	藤井 修㊟	井本 雅文㊟	宮川 義信㊟
C	松尾 正久㊟	藤井 義孝㊟	柳川 満㊟
D	山本 正三㊟	竹山 晃㊟	坂井 衛㊟

連 永島 和美 ☎52・5610 ㊟は二段、㊟は2級



問い合わせ 井手和子 ☎42・2524

少しも支障の手
 伝いができればと
 思いました。

福岡東 鈴木 郷恵
 今年は全国で豪雨、土砂災害、台風、火山噴火と自然災害が多く発生しました。いつどこで災害に遭つかかわらないために、日赤奉仕団の講師のかたに、私たちが支援できることや、包装食袋を使い、常備している野菜などで、簡単にできる調理方法を教えていただきました。

① 飯袋に研いだ米と同量の水をいれ、袋を手でしぼりながら中の空気を抜き、折り曲げ線で折り返し輪ゴムで封止める。

② ニンジン、タマネギ、ジャガイモを、熱が通りやすいように、大きさを均等に切り、水・固形コンソメを耐熱袋に入れ、しっかりと空気を抜き、口に近い部分を輪ゴムで結ぶ。

あらかじめ鍋に湯を煮立たせておき、ネットに①のご飯と②の野菜スープを入れてネットごと鍋の湯の中で、30分ポイルする。出来上がったらネットごと鍋から取り出し、湯きりし、蒸らした後取り出す。避難所などで、卓上コンロを利用し、人数にあわせて、工夫しながら、おかゆや味付けご飯などもできます。また、タオルケットとストッキングを使用した、防寒用のガウンの作り方や、血行をよくするマッサージなども学びました。

もしもの時に、少しでも支援の手伝いができればと思います。